

## ■ 省エネルギー部門大賞 ■

|      |   |                |
|------|---|----------------|
| 受賞者名 | 北海道電気相互株式会社   | 代表取締役<br>高橋 伸和 |
|      | 住所： 札幌市手稲区前田10条11丁目1番10号<br>TEL： (011) 299-6905<br>URL： <a href="https://denkisogo.jp/">https://denkisogo.jp/</a> |                |
| 設立年月 | 平成21年4月   |                |

### ■ 取組内容

## EMSを活用した効果的な省エネシステムの提供 (EMS：エネルギー・マネジメント・システム)

オフィスビルやショッピングモールなど様々な施設において、空調や冷蔵庫など各設備のエネルギーの「見える化」と「制御」により、省エネルギーを効果的に進めるシステムを、自社で調査、設計構築、開発、施工、導入後のサポートまで一貫して提供している。

### ■ 選考理由

- ・ エアコンなど既存設備を活かしたシステムの構築が可能で、パッケージ化され多機能で高額な大手企業のシステムに比べ安価。
- ・ 業種や顧客に合わせたきめ細やかな対応で導入事例も多いなど市場性や商品性も高く、IoTを活用したシステムとして高く評価できる。



EMSのイメージ

## ■ 新エネルギー部門大賞 ■

|      |          |                           |               |
|------|----------|---------------------------|---------------|
| 受賞者名 | 株式会社エルコム |                           | 代表取締役<br>相馬 督 |
|      | 住所:      | 札幌市北区北10条西1丁目10番地1        |               |
|      | TEL:     | (011) 727-7003            |               |
|      | URL:     | https://www.elcom-jp.com/ |               |
| 設立年月 | 平成3年4月   |                           |               |

### ■ 取組内容

# 排出元での廃プラスチックからクリーン熱エネルギーを創出するe-PEPシステムの開発と普及

廃プラスチックを圧縮や破碎によりペレット燃料化する処理機、ダイオキシンやCO<sub>2</sub>の排出を大幅に抑制するボイラで構成される熱エネルギーを創出するシステムを開発。廃棄・燃料コストの削減や環境負荷の低減を実現。

### ■ 選考理由

- ・ 廃プラ処分費削減のニーズは高いことから市場規模もきわめて大きく、全国的な波及効果の可能性が認められる。
- ・ 事業所で発生した廃プラスチックを事業所内で燃料形成し、燃焼処理してエネルギーとして活用できる一貫したシステムであり、再生工場への輸送も必要とせず、省エネルギー、経済性に優れている。



e-PEPシステム



自社プラゴミ・エネルギー化イメージ

## ■ 省エネルギー部門奨励賞 ■

|                    |  |   |
|--------------------|--|---|
| <p><b>受賞者名</b></p> | <p><b>株式会社イトイグループホールディングス</b></p> <p>住所： 士別市朝日町中央4527番地89<br/>                 TEL： (0165) 28-2600<br/>                 URL： <a href="https://www.itoi-good.co.jp/">https://www.itoi-good.co.jp/</a></p> | <p><b>代表取締役</b></p> <p><b>菅原 大介</b></p> |
| <p><b>設立年月</b></p> | <p>昭和42年5月</p>   |   |

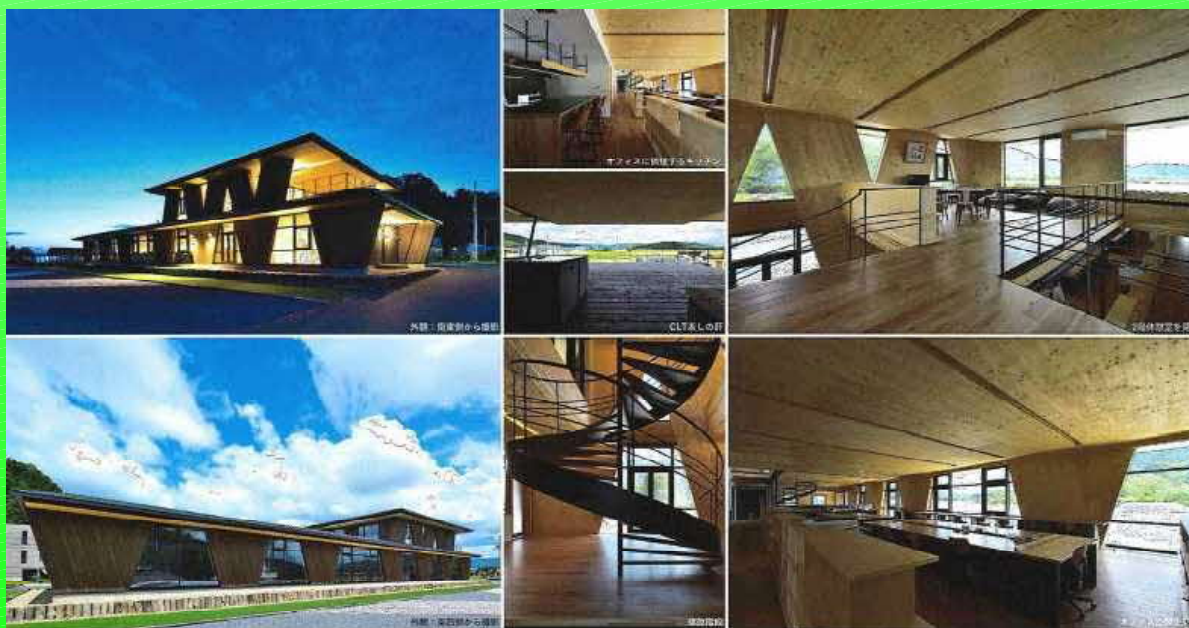
### ■ 取組内容

## CLTを用いた新社屋の建築

CLT（Cross Laminated Timberの略称で、ひき板を並べた層を、板の方向が層ごとに直交するように重ねて接着した大判のパネル及び、それを用いた工法）を使用し、無柱の大空間オフィスを今年2月に竣工。断熱性の高い特徴を活かし、北海道の寒冷地における省エネルギーの実現を提案している。

### ■ 選考理由

- ・ CLTはコンクリートなどに比べ断熱性が高く、建築物の省エネ性能向上が期待できる。また、地域の認定木材（道産トドマツ）を活用した特色ある取組であり、CLTで建てられた建築物は道内で数例しかなく、先進性・独自性が認められる。
- ・ 受賞者は新社屋の公開などによりCLTの普及啓発にも積極的に取り組んでおり、民間分野におけるモデル事例となることが期待できる。



CLTを用いて建築された新社屋

## ■ 新エネルギー部門奨励賞 ■

|      |   |                |
|------|---|----------------|
| 受賞者名 | 北海道電気相互株式会社   | 代表取締役<br>高橋 伸和 |
|      | 住所： 札幌市手稲区前田10条11丁目1番10号<br>TEL： (011) 299-6905<br>URL： <a href="https://denkisogo.jp/">https://denkisogo.jp/</a> |                |
| 設立年月 | 平成21年4月   |                |

### ■ 取組内容

## 災害時や普段時にも簡単に使える蓄電池ユニットの開発

寒冷地に強いバッテリーとブレーカーなどを装備し、タイヤ付きで持ち運びが容易な蓄電池ユニット『COMBO』。家庭用電源だけでなく太陽光パネルや風力発電などからの充電が可能で、非常時やイベント、電線が通っていない場所での利用など、さまざまな使い方が出来る。

### ■ 選考理由

- ・耐低温性に優れ、冬期間の災害時も利用できる北海道に適応した商品である。
- ・移動可能なコンパクトな蓄電ユニットで、複数ユニット使用も可能であり、災害時にも用途に応じた電力供給が可能。



持ち運び可能な蓄電池「COMBO」